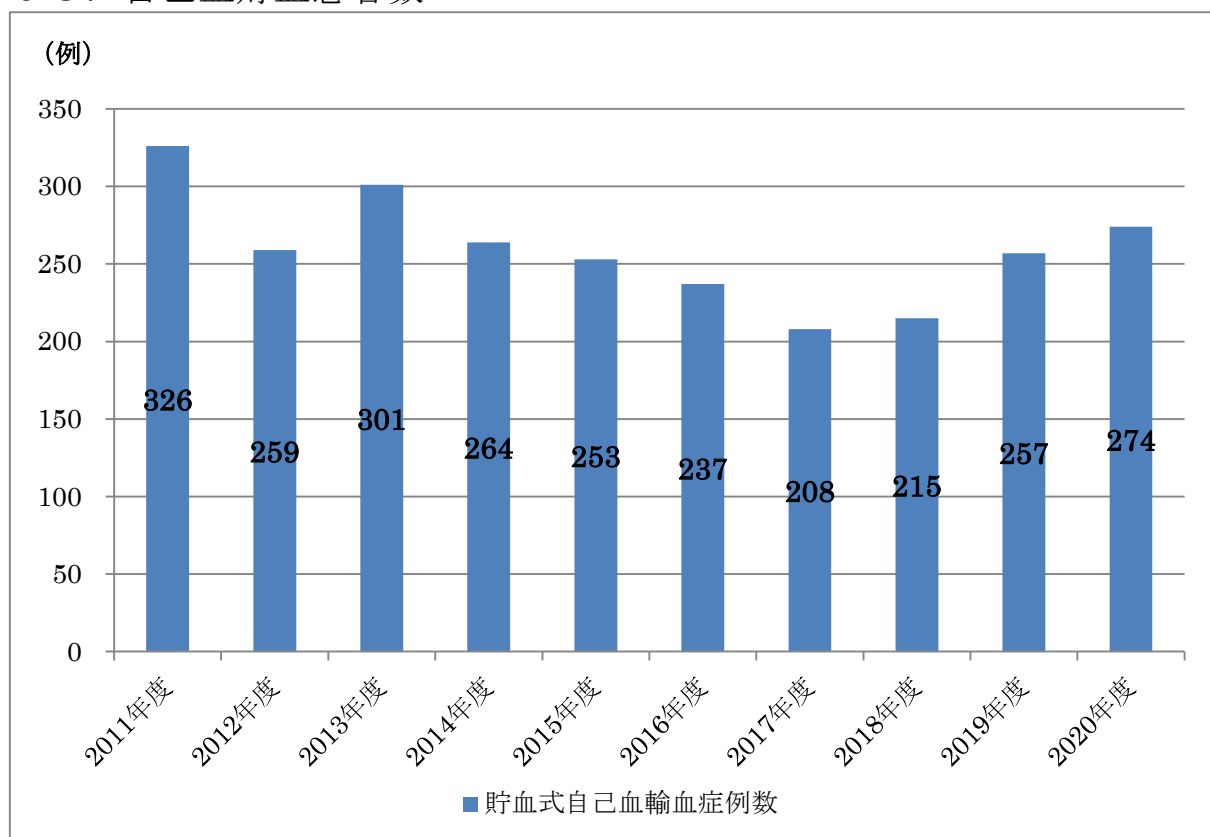


98. 自己血貯血患者数



自己血輸血は、待機的手術症例において予め患者自身の血液を採血・保管しておき、手術時に輸血が必要となった際に患者自身の血液を輸血する輸血療法である。他人の血液を輸血した際に起こりうる感染症や副作用等を回避できる利点があるが、自己血の採血に伴う負担や、採血により一時的に貧血になることもあり、適応に関しては検査データを確認した上、主治医と輸血部で判断している。

輸血部では、自己血輸血マニュアルを整備し、輸血認定看護師立ち会いによる採血、輸血部技師による製剤化と適正な保管・管理を行って、安全な自己血輸血に努めている。

尚、2020年度の主な依頼診療科は、形成外科、産婦人科、整形外科である。

データ提供 輸血部